

校長室からのお知らせ

1月8日 NO.35

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野 武志

正しい言葉遣いが目標です

今年の目標にしようと考えたのが「正しい言葉遣い」です。年始のテレビ番組で「新年 あけまして おめでとうございます」と何度もお聞きになられた方も多いと思いますが、実は「新年」は「年があげる」の意味もあり、「年があけて あけまして おめでとうございます」と、間違った表現になるそうです。有名な「頭痛が痛い」と同じ二重表現になるそうです。

少し調べてみますと、「馬から落馬する」や「後で後悔する」など分かりやすい二重表現もありますが、「一番最後（最後に一番後ろの意味がありますので、正しくは【最後】か【一番後ろ】）」や「満面の笑顔（面に顔の意味がありますので、正しくは【満面の笑み】）」や「料理を作る（料理にごはんを作るという意味があるので、正しくは【料理する】）」など、私自身は何の疑問も感じずによく使っていた二重表現も多く見つかり、恥ずかしくなりました。

そのほかにも、「お身体、ご自愛ください（自愛に自分の体を大切にしてくださいという意味があるので、正しくは【ご自愛ください】や【お身体に気をつけてお過ごしください】）」、「炎天下のもと（下にもとの意味がありますので、正しくは【炎天下で】や【炎天のもと】）」など、学校からの手紙にあいさつ文としてよく使われる表現も大きな間違いであり、これから気をつけようと思いました。

実は、この文面を作成しているときにも新しい発見があり、日本語の奥深さを感じています。「言葉遣い」の「づかい」は名詞なので「遣い」になり、「言葉を使う」の「つかう」は動詞なので「使う」になるそうです。ちょっとだけ、賢くなった気がしています。また、間違っているとは言えないかもしれませんが、「ナイル」は「川」の意味なので「ナイル川」は「川川」であったり、「チゲ」は「鍋」の意味なので「チゲ鍋」は「鍋鍋」であったり、「マグ」は「カップ」の意味なので「マグカップ」は「カップカップ」であることも知ることができて楽しかったです。記憶力に自信がなくなってきましたが、新しいことに驚いたり、恥ずかしい思いをしたりしながらも、「正しい言葉遣い」で子どもたちにお話ができるようにがんばっていこうと思います。